



◀レキオススマートウェイの仕組みイメージ図

従来のシェア型ネットサービスは、

沖縄県内で約4万世帯にネットサービスを提供しているレキオス（沖縄県那覇市）では、国内初の独自技術を導入した高速通信サービス「レキオススマートウェイ」を20年1月より展開している。

独自の回線で通信トラブルを回避

レキオス（沖縄県那覇市）

線品質が奏功し利用者総合満足度ナンバーワンを獲得している。

提供エリアは、北海道、関東、東海、関西（和歌山県を除く）、中国（広

導入住戸で回線遅延クレームゼロの事例も

島県、岡山県）、九州（福岡県、佐賀県）に拡大中となっており、賃貸物件だけでなく分譲マンションでの導入も増えている。

共有回線を経由してネットに接続するため、通信量が増えた分だけ回線が混雑し遅延が発生してしまう。同サービスでは、空いている回線を経由し独自のクラウドへと接続。共有回線とは別の回線でネットにアクセスするため、安定した通信を提供できる。また、独自のコンテンツサーバーに主要な動画サービスのデータを蓄積している。利

ライフリライアンス（大阪市）

IPv6回線への変更を自社負担で実施

導入後のサポート体制を充実させ信頼を獲得

賃貸住宅に入居者が無料で利用できるネット回線を提案するライフリライアンス（大阪市）は、全国20万世帯以上への導入実績がある。契約数は毎年増加傾向にあるが、特にコロナの感染が拡大した20年以降、契約数はさらに伸びているそうだ。

ユーザーは動画がストックされたコンテンツサーバーにアクセスするため、快適に動画を視聴することが可能だ。

安定した通信環境を提供することは、競合物件との差別化につながる。コロナ下でネットの利用が増え、通信速度に関するトラブルが多発していた物件に同サービスを導入したところ、回線遅延に関するクレームがゼロになったという報告もある。

情報通信事業部の松堂敦義氏は「コロナ下で顕著になったが、今後ともネットの利用者・利用量は増えていくことが予想できる。常に安定した通信環境を提供できるサービスを選んで活用してほしい」と話す。

現在は沖縄県を中心にサービスを提供しているが、今後全国展開に向けて準備を進めている。

め通信環境を改善し、入居者からのネットの速度や安定性に関するクレームが発生する前に予防の提案を行うことで、オーナーからの信頼につながっている。

24時間365日対応のコールセンターを擁しており、トラブル時にスピード感のある対応ができることも強みだ。ネットの接続に関する問い合わせは、夕方以降の夜間帯など、利用者の増える時間に多く発生する。24時間対応可能な体制を整えていることで、トラブル発生時も安心して頼れるという。

同社ではコンセント内部への埋め込み型WiFi設備を採用する物件が多い。入居者は、入居後にパスワードを設定するだけですぐにネットを使えるため、接続にかかる手間がほとんどない。ルーターなどの接続設備を置く必要もないので、コンセント型賃貸では部屋のイメージを損なわずに導入可能だ。

営業販売促進部の金本義昭ゼネラルマネージャーは「単にネットが使えるだけでなく、快適な通信環境を提供することが今後より求められると思っっている。導入後のサポート体制も重要となるため、入居者やオーナーのニーズに合わせた提案を、今後もしっかりと行えるようにしていきたい」と話す。